

第287回 番組審議会

1. 日 時 令和元年 11月12日(火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 7名
出席委員数 7名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)
近藤 一英 (副委員長)

—以下50音順—

朝岡 正貴
石田 征広
佐々木 泰司
菅原 正二
八木橋 伸之

○ 会社側出席者 (7名)

齋藤 秋水 (代表取締役社長)
小原 忍 (取締役副社長)
高嶋 昇 (常務取締役)
一戸 俊行 (取締役報道制作局長)
君澤 温 (取締役総務局長)
菊地 十郎 (報道制作局制作部長)
庭田 康宏 (めんこいエンタープライズ制作部主任)

○ 事務局 大場 薫

4. 議題 『山・海・漬』

～山海漬 放送1000回!! 古今もりおか再発見～

令和元年9月7日(土) 18:30～19:00放送

5. 議事概要

今回は、9月7日よる6時30分から放送した『山・海・漬』を審議しました。議事の概要は以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ報道制作局制作部 菊地十郎部長からの説明

・『山・海・漬』は、岩手の文化、風土、人、食など、幅広く紹介しまして、また、そういったことで頑張っている人たちを元気付けていこうということで、1996年の10月に始まりました。以来23年をかけた、今年の9月7日に放送1000回という節目を迎えました。このような長寿番組は、FNS系列の中でも、そうそうあるものではないと聞いておりますし、県内でもそういった番組はあまり聞いたことがありませんので、その辺、私どもも自信を持って制作しております。

●めんこいエンタープライズ制作部 庭田康宏主任からの説明

・『山・海・漬』1000回目の放送に際し、より『山・海・漬』らしい企画で臨みたいと思ひまして、今回のこの放送に至りました。もともと『山・海・漬』では、盛岡の旧町名を元に、町の歴史や名物を取り上げる、『城下もりおか再発見』という人気シリーズがございまして、これをベースにしようと思ひました。

ナレーター小野寺瑞穂さんの声を軸に、何でもテーマにできるのが『山・海・

漬』の強みだと思っております。番組に、最後にもナレーションしましたが、1000回放送しても、まだまだネタが尽きませんので、これからも岩手の情報を余すところなく発信していきたいと思っております。

●出席した委員からの意見

- ・街の古い写真を多用しわかりやすく、テレビの最大の特徴でもある視覚での楽しみが得られた。
- ・若い世代にも伝わりやすい構成になっていた。
- ・リポーターの喋りや動作など、主張しすぎず好感が持てた。
- ・昔と今の道がどのように変化を遂げたのか地図を活用し説明してもよかったのではないか。

●委員からの質問、意見に対する会社側からの回答

・『山・海・漬』というネーミングですが、岩手のとにかく良い所、人であったり、物であったり、風土、文化、食。そういった物を、全て詰め込んで見ていただくというような形で始まりました。

岩手といたらやっぱり、山、川、海、広い大地というところもありますので、そういった物を網羅した番組ってということで、『山・海・漬』という名前を付けさせていただいたと思っております。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置
特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※令和元年11月13日(水) 産経新聞 東北版

※令和元年11月23日(土) 午前4時42分から4時45分まで「めんこいテレビ番審リポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付、各支社に備置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

9. その他の参考事項

特になし

※12月は、休会となります。

次回は、令和2年1月14日(火)12時より3階「星雲東の間」にて開催予定です。